リーディングDXスクール事業 【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校

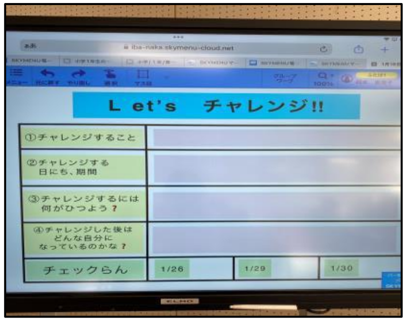
【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

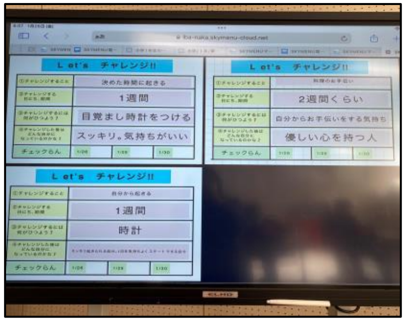
自・情学級
自立活動の事例

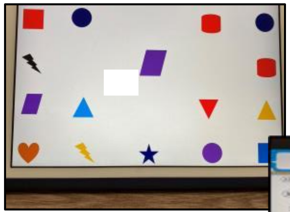
題材名：自分でチャレンジ！

学校や家でチャレンジしてみたいことは何かな？

はじめ（ウオーミングアップ） → 本時の課題（小集団） → 個別の課題 → 振り返り







活動のウオーミングアップでスリーヒントクイズを行った。プレゼンテーションソフトを活用し、１つずつヒントを提示することで、聴覚と視覚からの情報で答えをイメージしやすくした。

これまでの自分を振り返り、これからチャレンジしたいことを各自のタブレットに打ち込んだ。いつでも家や学校において、自分で確認したりチェックしたりできるようにした。

友達のシートを中間共有することで、自分の目標が決められない児童が参考にできた。また、発言だけでなくそれを視覚化することで、友達の考えをより理解することができた。

個別の課題では、ビジョントレーニングを行った。個々の課題に合わせた動画を選択し、活用した。

児童の実態から、タブレットの活用は聴覚だけでなく、視覚的効果を高め、児童の理解を深めるためにも有効である。小集団活動、個別活動とそれぞれの課題において、学習支援ソフトや動画、プレゼンテーションソフトと目的を勘案しながら使い分けをした。